

事業の概要

2004 年度に行なわれた学校法人及び設置学校の事業の概要は、以下のとおりである。

1 学校等の設置及び 2005 年度設置認可等の申請等

(1) 学校等の設置

学部の設置

情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科 (入学定員 400 人, 収容定員 1,600 人)

大学院研究科の設置

法務研究科(専門職学位課程) (入学定員 200 人, 収容定員 600 人)

グローバル・ビジネス研究科(専門職学位課程)(入学定員 80 人, 収容定員 160 人)

ガバナンス研究科(修士課程) (入学定員 50 人, 収容定員 100 人)

附属機関の新設

ア 心理臨床センターの設置

大学附属機関として、外来の心理相談機関である心理臨床センターをアカデミーコモン 7 階に設置した。心理臨床センターは、広く地域社会に開かれた外来の相談機関としての役割と 2005 年度開設の大学院文学研究科臨床人間学専攻の臨床心理実習の場としての役割も担う。

イ 明治大学博物館の新設

旧刑事・考古学・商品の三博物館を統合し、生涯教育の拠点のひとつとなる明治大学博物館をアカデミーコモン地階に開設した。新博物館は特別展示室、収蔵室、博物館教室等の教育普及施設などを備えた最先端レベルの博物館施設となった。

(2) 2004 年度収容定員の変更及び募集停止

以下のとおり、大学の収容定員の変更並びに二部及び短期大学の募集停止を行った。

学校名	学部名	学科名	入学定員		
明治大学			旧	新	
	法学部(一部)	法律学科	860	900	
		商学部(一部)	商学科	960	1,020
			政治学科	205	260
		政治経済学部(一部)	経済学科	605	660
			地域行政学科	150	150
	文学部(一部)	文学科	339	400	
		史学地理学科	193	245	
		心理社会学科	60	75	
	理工学部	電気電子工学科	112	110	
		電子通信工学科	112	110	
		機械工学科	122	120	
		機械情報工学科	122	120	
		建築学科	142	140	
		工業化学科	112	110	
		情報科学科	106	105	
		数学科	56	55	
物理学科		56	55		

学校名	学部名	学科名	入学定員	
明治大学			旧	新
	農学部	農学科	130	130
		農業経済学科	130	130
		農芸化学科	120	130
		生命科学科	120	130
	経営学部	経営学科	360	380
		会計学科	150	170
		公共経営学科	100	100
	情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科		400
	法学部(二部)	法律学科	280	
	商学部(二部)	商学科	450	
	政治経済学部(二部)	政治学科	190	
		経済学科	250	
	文学部(二部)	文学科	180	
史学地理学科		120		
明治大学短期大学				
	法 律 科		212	
	経 済 科		212	
入学定員総計(大学・短大)			7,316	6,205

(3) 2005 年度開設の大学院の設置等に係る認可申請等

大学院会計専門職研究科（アカウンティング・スクール）の設置申請

2005 年 4 月 1 日開設予定の会計専門職研究科（専門職学位課程）に係る設置認可申請を文部科学省に行い，2004 年 11 月 30 日，認可された。入学定員 80 人，収容定員 160 人である。

大学院文学研究科臨床人間学専攻の設置認可申請

文学研究科臨床人間学専攻（修士課程）に係る設置認可申請を文部科学省に行い，2004 年 11 月 30 日，認可された。入学定員 14 人，収容定員 28 人である。

大学院の収容定員の変更に係る学則変更（2005 年度施行学則）

政治経済学研究科政治学専攻（博士前期課程・博士後期課程）及び経済学専攻（博士後期課程）の収容定員増加に係わる学則変更を文部科学省に届け出，受理された。

2 学校法人の管理・運営

(1) 総長制の廃止及び私立学校法の改正等に伴う寄附行為の一部改正

社会の急激な変化に主体的かつ機動的に対応し，社会の要請に応え得る質の高い教育・研究を展開していくために，より円滑な意思決定を可能とする管理運営体制を整備する必要から総長制を廃止し，また，理事制度・監事制度及び評議員制度の改善や財務情報等の公開義務を定めた私立学校法の一部改正に対応する等のため，学校法人明治大学寄附行為の一部改正を行い，文部科学省に寄附行為変更認可申請を行い，2005 年 3 月 30 日，認可された。

(2) 学校法人明治大学「経営課題検討プロジェクト」を設置

設置学校の教育・研究の充実及び向上を図り，経営課題を検討することを目的に理事長の諮問機関として「学校法人明治大学経営課題検討プロジェクト」を設置した。

(3) 事務機構の改善

2004 年 4 月，事務機構を以下のとおり廃止，または設置した。

「新学部設置準備室」の廃止及び「情報コミュニケーション学部事務室」の設置

「法科大学院設置準備室」の廃止及び「法科大学院事務室」の設置

「管財部駿河台 B 地区推進課」の廃止

3 校舎・教育研究環境の整備

(1) 駿河台キャンパスの新拠点「アカデミーコモン」の利用開始

創立 120 周年記念事業の集大成で，生涯教育，産学連携及び専門職大学院の拠点としてアカデミーコモンが，2004 年 4 月 1 日，オープンした。アカデミーコモンは学術を中心とした万人の建物であり，主な用途はリバティ・アカデミー講座，TLO に代表される産官学・社会連携事業，大学博物館及び法科大学院（法務研究科），ビジネススクール（グローバル・ビジネス研究科），公共政策大学院（ガバナンス研究科）の高度専門職業人養成型大学院の施設である。

(2) 黒川農場（川崎市）の取得

2004 年度，新たに川崎市黒川に農学部農場実習用地を取得した。これは既設の富士吉田農場（山梨県富士吉田市）及び誉田農場（千葉県千葉市）を統合し，農場実習用地を生田校舎近郊に移設することを目的に取得したものである。今後，川崎市との間で近郊農業の振興策や先端農業の研究・実習を通じた社会・地域貢献に資する計画を展開していく予定である。

(3) 和泉キャンパスに“ 知の泉 ” 和泉メディア棟が竣工

2005 年 3 月 和泉キャンパスに新しいシンボルとなる和泉メディア棟が竣工した。和泉メディア棟は，地上 7 階，地下 1 階建てで，21 世紀にふさわしい先進性を視野に入れ，CALL 教室等，最先端のマルチメディア機器・設備を統合した自学自習システムなど高度情報化に対応した教育環境を整備し，また，地球環境に配慮した「環境共生建築」として設計されている。

4 教育・研究活動

質の高い教育活動を実践するため，恒常的活動である教員研修（FD），学生による授業評価の実施に加え，2004 年度は，次のような教育課程等の整備を実施し，特色ある教育活動を展開した。

(1) 教育課程等の整備

半期履修制の導入

成績評価基準の変更及び GPA 制度の導入

7 講時制による授業時限の拡大と弾力化（フレックス制の実施）

(2) 特色ある教育・研究活動

大学院理工学研究科が 2 件目の連携大学院を開設

大学院理工学研究科は，2003 年度の N T T 物性科学基礎研究所との連携大学院開設に続き，2004 年 4 月 1 日付けで独立行政法人海洋研究開発機構と教育研究協力に関する協定を締結し，連携大学院を開設した。

教員研修（FD）活動の実施

教員研修（FD）委員会を中心に，新任教員研修会，3 回の講演会・シンポジウム，前期・後期 2 回の学生による授業評価アンケート等を実施した。

教育改革支援プログラムの推進・実施

ア 特色ある大学教育支援プログラム

＊ ネットワークを用いた学習支援システム（大学全体）【継続】

＊ ツイニングによる国際化への積極的取組（13 大学共同）【継続】

イ 法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム

＊ 『プロセス』学業評価システム（法科大学院）【新規】

ウ 海外先進教育研究実践支援プログラム

＊ 西シドニー大学との共同による法学教育（法学部）【新規】

大型研究プロジェクトの推進・実施

ア ハイテク・リサーチ・センター整備事業

- * 生体物質を利用した新機能性ナノ素材の創生【新規】
- イ 学術フロンティア推進事業
 - * 機械材料と機械要素の信頼性データバンク構築に関する研究【継続】
 - * 先端的グローバル・ビジネスとITマネジメント - Global e-SCM に関する研究【継続】
 - * 強地震動下における構造物および機器・装置・配管系の損傷制御および機能維持システムの開発【継続】
 - * 日本古代文化における文学・図像・伝承と宗教の総合的研究【新規】
- ウ オープン・リサーチ・センター整備事業
 - * 地域産業発展のための企業家，実業家，行政マン等育成のための研究プロジェクト【継続】
 - * 危機管理に対応する行政管理システム確立に関する研究【継続】
 - * コミュニティ開発におけるNPO・行政・地域企業・大学の戦略的パートナーシップに関する研究【新規】
- エ ベンチャー研究開発拠点整備事業
 - * 21世紀の食糧生産・生物活用のためのバイオテクノロジープロジェクト【継続】
- 大学発事業創出実用化研究開発事業の採択状況
 - * 建設系複合資材廃棄物の分別，細分化及び分級技術の開発
 - * ナノ漆の開発と応用に関する研究
 - * 高速駆動ミラー光源を持つUV/可視同軸照射ラマン顕微鏡の開発
- 『千代田学』に関する区内大学等の事業提案制度（H17年度分）の採択状況
 - * e - 千代田区の推進を通しての新たなコミュニティの形成 - 「福祉」という経済問題を解決するための一試案 -
 - * 神田地域の歴史地図データベース構築

5 国際交流活動

教員・学生に係る個々の国際交流活動を除く2004年度の機関としての主な国際交流活動は以下のとおりであった。

(1) イギリス・リーズ大学大学院の通信教育プログラム開始

2004年9月からイギリス・リーズ大学ヨーク・セント・ジョン・カレッジとの提携により，リーズ大学大学院の通信教育プログラムの提供を始めることになった。これは，通信教育でありながら，イギリスの大学院に正規学生として入学し，2年間にわたるプログラムを履修，修士論文の審査を受けて修士号を取得するものである。

(2) 協定校の締結

2004年度は，以下の2校と協定締結を行い，協定校数は，学部間交流も含め16ヶ国・地域28大学となった。

マレーシア工科大学と大学間交流協定を締結

フランス・パリ国立東洋言語文化研究学院と大学間学術協力協定を締結

(3) 大学博物館が国際学術会議「スヤンゲとその隣人たち」を開催

博物館は、特別展「韓国スヤンゲ遺跡と日本の旧石器時代」を開催したが、これに関連して 2004 年 5 月に駿河台校舎リバティタワーで国際学術会議「スヤンゲとその隣人たち」を開催した。

6 社会連携

(1) 社会連携促進知財本部の事業活動

知財本部は、社会貢献を第 3 の使命として位置づけ、知的財産の創出から活用にいたる事業活動を推進している。2004 年度は地域と連携した「研究・技術交流会」等の「協創型」産官学連携活動の推進、「関東・関西 8 私大産学連携フォーラム」等の「学」・「学」連携の推進及び産官学連携に関する基本ポリシーの制定に向けた取組等を実施した。

(2) リバティ・アカデミー、アカデミーコモンを拠点に積極展開

生涯学習及び大学の社会貢献の機能を果たすリバティ・アカデミーは待望久しい拠点を新装のアカデミーコモンに移し、2004 年度は 250 講座を展開、会員数 1 万人を超えた。教養・文化講座に加え、特別企画講座、資格・実務・語学講座、ビジネスプログラムなど受講者の様々なニーズに合せた講座を提供している。

(3) 産学連携の情報発信「秋葉原クロスフィールド」に参画

本学は、世界的な情報産業の研究開発拠点を目指す「秋葉原クロスフィールド」計画に参画することを決定し、「秋葉原ダイビル」に入居する 12 団体のひとつとなった。「秋葉原クロスフィールド」は、神田市場の跡地に開発中の IT 拠点計画の名称で、本学は IT 関係を中心とした先駆的取り組みを取り上げ、産学連携のための情報発信拠点及び研究・教育テーマのサテライト拠点を形成することになる。

(4) 明治大学 - 成田社会人大学の実施

8 年目を迎えた明治大学・成田社会人大学は、アカデミックかつ市民自ら講座の企画・立案を行う地元主導型の 3 課程（国際社会課程・地域社会課程・緑地環境課程）を開講した。

(5) 地域自治体との連携・協力

千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定に基づく事業の実施

- * 千代田区と本学による大規模災害時における協力（本学の防災拠点化、災害時学生ボランティアの育成等）

- * 千代田区立図書館と本学図書館との相互協力

- * 「大江戸フェスティバル」の後援・参加

- * 千代田区による公募型地域研究「千代田学」への事業提案 1 件

杉並区と「杉並区立図書館及び区内大学・短期大学図書館の相互協力に関する協定書」の締結

杉並区と区内高等教育機関との連携協同に関する包括協定の締結

調布市と相互友好協力協定（文化，教育，学術，スポーツ分野）の締結
三鷹ネットワーク大学に関する基本協定の締結

7 学術会議・講演会・シンポジウム等の開催

2004 度で開催された主な学術会議・講演会・シンポジウムは，以下のとおりであった。

(1) 学術会議・シンポジウム等

法科大学院が J A S R A C 寄付講座を開講

社会連携促進知財本部「シンポジウム 2005 - 大学の知的財産活用と人材育成」

(2) 開設及び周年記念講演会・シンポジウム等

法科大学院開設記念シンポジウム「知的財産制度改革の現状と将来」

情報コミュニケーション学部開設記念シンポジウム「情報とコミュニケーションの新時代へむけて」

公共政策大学院ガバナンス研究科開設記念シンポジウム「政策創造とガバナンス」

文学部文学科文芸メディア専攻開設記念シンポジウム「文芸と言語メディア - その過去と未来 - 」及び文学部特別企画シンポジウム「東洋史からアジア史へ - 変わる世界史，広がるアジア - 」

会計大学院開設記念シンポジウム「国際化時代の会計プロフェッション教育のあり方 - 会計大学院教育への熱い期待 - 」(2005 年 4 月開設予定)

商学部開設 100 周年記念事業「国際交流シンポジウム」,「駐日仏大使による講演会」及び商学部創設 100 周年記念講演会

政治経済学部創立 100 周年記念講演会

8 入学試験関連事項

(1) 首都圏高校教員説明会を開催

(2) 学内受験相談会（オープンキャンパス）を 6 回開催（約 20,000 人が参加）

(3) 2005 年度入学試験の実施状況

学部一般入学試験の志願者数は 11 頁のとおり。付 属高校・指定校からの推薦入学試験 , 公募制スポーツ特別入学試験等特別入学試験の志願者数は 3,017 人であった。

大学院各研究科の志願者数は博士課程前期が 1,484 人 , 博士課程後期が 116 人で , 開設 2 年目となる法科大学院には 2,589 人の志願者があった。

また , 付属明治高等学校には 628 人 , 付属明治中学校には 1,307 人の志願者があった。

9 教育関係事業の実施状況

(1) 司法試験 , 公認会計士試験等の国家試験対策の強化・推進

(2) スポーツ活動振興対策の推進

(3) 明大文化プロジェクト「ヴェニスの人」の公演実施

10 その他

- (1) 第7回ホームカミングデーの開催
- (2) 第2回明治大学産学交流シンポジウムの開催

11 施設・設備の改善

3「校舎・教育研究環境の整備」を除く施設・設備の主な改善内容は、以下のとおり。

地区	改善内容
駿河台	大学会館・11号館・12号館の環境改善（駿河台B地区 期移転改修他工事）
	院生共同研究室の整備（14号館3・4階）
	アカデミーコモン教室・事務室の環境改善
	他4件
和 泉	体育館コンディショニングルーム空調の改善
	和泉メディア棟新築 AV棟改修
	第三校舎研究指導室の設置
	他2件
生 田	第二校舎の環境改善（A館・1・3・4号館）
	図書館空調の改善及びセキュリティの改善
	他9件
明高中	課外活動施設の改善（第四校舎2階生徒部室改修）
	第二校舎の環境改善（ピロティネット改修他）
	他1件